

第5回 信州の社長・トップに聞く 報告書

(2002年3月26日～4月26日調査)

調査の設計	1
調査の概要	3
単純集計	6
調査票	14



社団法人 長野県世論調査協会

Tel 026-233-3616 Fax 026-233-3610
<http://www.nagano-yoron.or.jp>

調査の設計

調査の目的

厳しい経済状況が続いているが、日銀が公表した3月の企業短期経済観測調査によると、大企業を中心とした景況感の底入れ感を示している。しかし、デフレ色はぬぐいさることができず、雇用や消費を取り巻く環境も依然として明るくはない。

そして、小泉首相は高い支持率を誇っていたが、今年になり田中真紀子外相の更迭や国会議員の政治とカネをめぐる不祥事が相次いで発覚するなど、各種の世論調査によると支持率を大幅に下げしており、政権基盤も揺らいでいる。

今回の第5回「信州の社長・トップに聞く」調査では、各界のリーダーの力量がますます問われる状況下で、信州の社長・トップが現在の「経済状況」や「雇用」「女性と職業」、さらには「国際関係」などについてどう受けとめ、どう考えているのかを探る。

長野県世論調査協会が日ごろ行っているさまざまな世論調査では、「役員・管理職」は、全体に占める割合はあまり多くはないものの、その内容は示唆に富み、その時々々の世論の動向を知るための有力な手がかりになっている。この「信州の社長・トップに聞く」調査では、職業層をさらに経済界のトップに限定して、県下のオピニオン・リーダーとしての価値観を探ろうとの狙いで、1997年1月に初めて実施し、これまでにほぼ1年に1回調査を行っている。

調査の設計

調査対象

県内の各業界で中核的に活動している企業の社長

調査方法

郵送

調査期間

2002年3月26日～4月26日

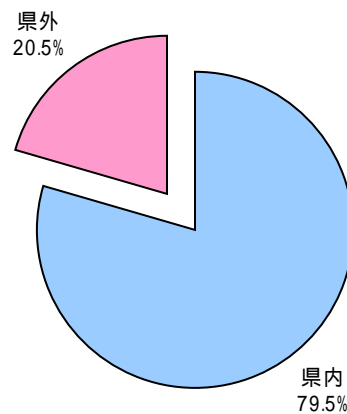
回収結果

サンプル数 827 有効回答数 361 (回収率 43.7%)

サンプルの内訳（総サンプル数：361）

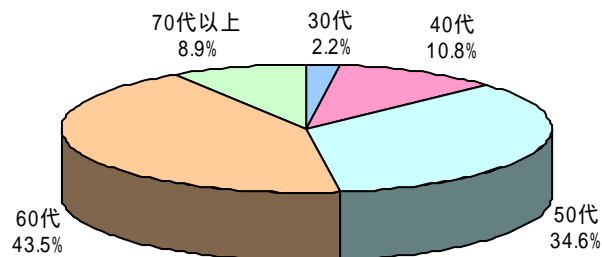
【出身地】

県内	287	79.5%
県外	74	20.5%



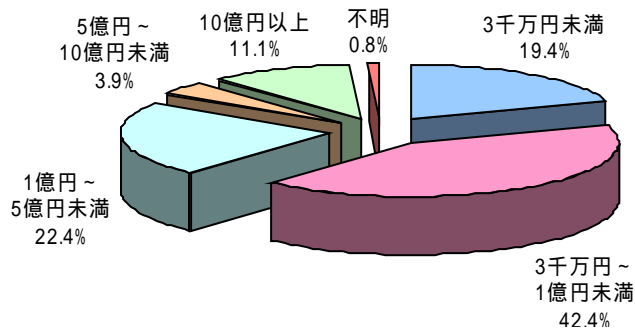
【年代】

30代	8	2.2%
40代	39	10.8%
50代	125	34.6%
60代	157	43.5%
70代以上	32	8.9%



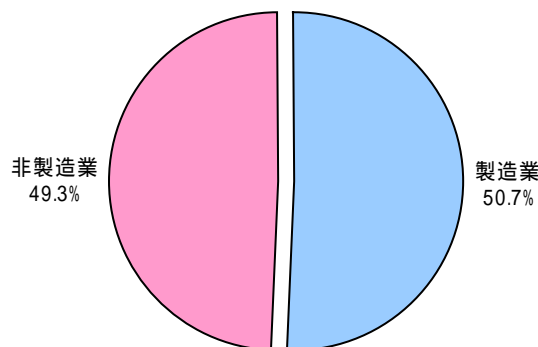
【資本金】

3千万円未満	70	19.4%
3千万円～1億円未満	153	42.4%
1億円～5億円未満	81	22.4%
5億円～10億円未満	14	3.9%
10億円以上	40	11.1%
不明	3	0.8%



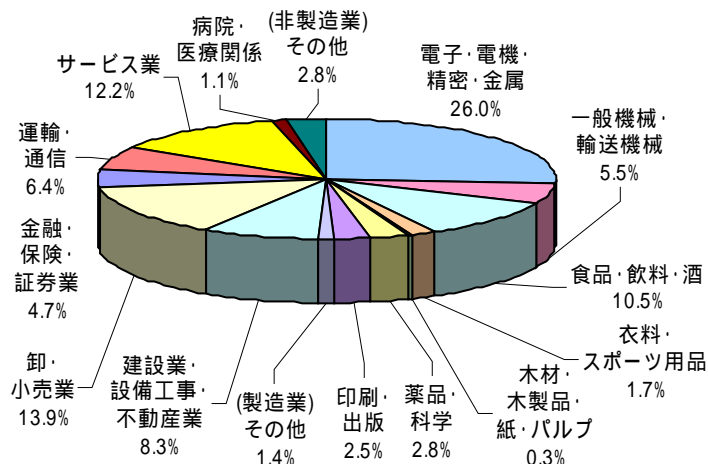
【製造業か非製造業か】

製造業	183	50.7%
非製造業	178	49.3%



【業種】

電子・電機・精密・金属	94	26.0%
一般機械・輸送機械	20	5.5%
食品・飲料・酒	38	10.5%
衣料・スポーツ用品	6	1.7%
木材・木製品・紙・パルプ	1	0.3%
薬品・科学	10	2.8%
印刷・出版	9	2.5%
(製造業)その他	5	1.4%
建設業・設備工事・不動産業	30	8.3%
卸・小売業	50	13.9%
金融・保健・証券業	17	4.7%
運輸・通信	23	6.4%
サービス業	44	12.2%
病院・医療関係	4	1.1%
(非製造業)その他	10	2.8%



調査の概要

現在の景気

景気については「不況のまま足踏み」が 51.0%、「不況がさらに深刻化」が 26.9%となり、合計では 77.9%と依然として景気の低迷に対する懸念が示されているが、「不況の底から回復の兆し」が 18.3%と、前回の「信州の社長・トップに聞く」調査（2001年3～4月）より 12.3ポイント高くなり、「不況がさらに深刻化」が減少するなど一部では業況の悪化に歯止めがかかりつつある状況もうかがえる。

経済的課題

最も関心を持っている経済的課題などでは、「景気」が 42.7%と最も多く、次いで「産業空洞化」が 22.2%、「国際競争力」が 12.5%とこの3項目が2けた台になり、このほかは1けた台前半の回答が目立つ。

雇用見直しや雇用のかたち

長期化する不況の中で雇用情勢の深刻化が指摘されているが「削減を実施・検討」が 38.0%、「増員を実施・検討」が 12.5%、「現状のまま」は 46.8%だった。

雇用削減の方法としては「定年などの自然減」が 75.3%、「採用減」が 62.6%と、ソフト路線による自然減が多い。次いで「パート・臨時社員の削減」が 34.6%、「早期退職」が 28.0%などとなっている。

雇用のかたちとしては、「パート・アルバイト」が 53.5%、「中途採用」が 51.8%とこの2項目が 50%を超えている。このほか、「派遣社員」が 36.8%、「契約社員」が 36.0%、「定期採用」が 34.9%などとさまざまな人員確保の方法が取られている。

また、雇用状態を改善するための対策としては、「新しい産業を育成して新たな雇用を生み出す」が 77.6%、「政府が景気対策を追加して雇用を増やす」が 52.9%と多かった。

終身雇用制について

終身雇用制が「望ましくない」は 25.2%と「望ましい」の 17.7%を上回り、「どちらともいえない」が 48.8%と一番多かった。日本的雇用のひとつの特徴であった終身雇用制については「望ましい」が少なく、企業側がより柔軟な雇用体系を目指しているようだ。

女性と職業

女性の社会進出は時代の趨勢となっており、「女性は職業を持たないほうがよい」は1.1%と少なかった。そして、「子どもができたら職業をやめ、子育てが一段落したら再び職業を持つ方がよい」が46.8%と最も多く、次いで「結婚や出産にこだわらず、ずっと職業を続ける方がよい」が20.5%だった。

働く女性と県内の企業や地域の環境、支援対策

長野県内で女性が働くのに、企業や地域の環境は都会と比べて「よい」が40.2%、「よくない」が31.8%だった。

働く女性の支援策としては、「仕事の内容・待遇で男性と区別しない」が49.3%、「勤務する日や時間を弾力化する」が47.9%、「出産・育児後に復帰・再就職する」が43.8%で上位3位。

親しみを感じる国・地域、親しみを感じない国・地域

親しみを感じる国・地域では、アメリカが69.5%と他に大きな差をつけて、中国が31.9%、東南アジア諸国が28.0%、ドイツが26.6%で続いている。

一方、親しみを感じない国・地域では、北朝鮮が83.1%と一番多く、次いでロシアが56.8%、中近東が40.7%といずれも高率になっている。

日本と中国・韓国との経済面での立場

県内の製造業では海外に生産拠点を持つ企業が増える傾向にあり、特に中国に進出する企業が目立つ。また、韓国はワールドカップサッカーを共催することもあり、関心が高まっている。

こうした中で、日本にとって中国と韓国との経済面での今後の立場では、「ライバル」とする回答が「パートナー」とする回答をいずれも大きく上回っている。

経済関係を深めたい国・地域

日本が経済の上で今後関係を深めたらよいと思う国・地域としては、中国が65.4%、アメリカが51.8%、東南アジア諸国が37.1%となり、中国に対する優先度の高さが注目される。

後継者や進退

後継者の資質としては、「先見性」や「行動力」「指導性」を重視し、自分が経営者として退任・引退を決めるのは「後継者の確保」がトップで、「知力の衰え」「体力の衰え」が上位に並んでいる。

田中長野県知事の支持

田中県知事を「支持」は40.7%で、「不支持」は42.2%と「不支持」が「支持」を上回り、前回の「社長・トップに聞く」調査の「支持」が57.6%、「不支持」が28.5%と比べ逆転している。

長野県政の優先分野

県政の優先分野は、「行財政改革」が32.7%、「商業・観光」が15.2%、「教育」が13.0%の順番になり、前回調査と同じになっている。

長野県の方向

現在の長野県の方向について、「よい方向」が多かったのは「住環境」「道路交通網」「行政の情報公開」の3項目、「悪い方向」は「青少年の育成」「学校教育」「公共交通機関」「雇用確保」「中心市街地」の5項目、「どちらともいえない」は「障害者の社会参加」など15項目だった。

日本の方向

日本の方向については、「よい方向」が一番多くなった回答はなく、「悪い方向」は「国の財政」「若者のモラル」など11項目、「どちらともいえない」は「国際化」など7項目となり、厳しい見解が示されている。

小泉内閣支持と政党支持

小泉内閣を「支持する」が63.8%と、「支持しない」の26.3%に大差をつけている。

政党支持では自民党が47.6%と最も多く、次いで「支持する政党はない」が29.4%、民主党が9.4%、自由党が5.3%などとなっている。

単純集計

依然として不況感、回復の兆しも

問1 現在の日本の景気はどんな段階だと思いますか			前回調査
不況のまま足踏みしている	184	51.0%	46.0%
不況がさらに深刻化している	97	26.9%	41.9%
不況の底から回復の兆しがある	66	18.3%	6.0%
不況から回復し拡大している	4	1.1%	1.1%
好況が続いている	3	0.8%	1.4%
なんともいえない・わからない	5	1.4%	3.0%
不明	2	0.6%	0.5%

「景気」や「産業空洞化」などに関心

問2 現在、経済的課題などで最も関心を持っているのはどんなことですか			前回調査
景気	154	42.7%	53.4%
産業空洞化	80	22.2%	9.3%
国際競争力	45	12.5%	9.3%
高齢化・少子化	14	3.9%	3.3%
株価	12	3.3%	7.9%
雇用・収入	11	3.0%	3.0%
財政・税金	10	2.8%	3.0%
物価	9	2.5%	2.5%
地価	8	2.2%	1.4%
情報技術	6	1.7%	1.9%
金利	3	0.8%	1.9%
その他	7	1.9%	2.7%
不明	2	0.6%	0.3%

「削減を実施・検討」が38%

問3 あなたの会社では、現在の雇用を見直す動きがありますか		
現状のまま	169	46.8%
削減を実施・検討	137	38.0%
増員を実施・検討	45	12.5%
その他	5	1.4%
答えない	2	0.6%
不明	3	0.8%

「パート・アルバイト」「中途採用」が多い

問4 あなたの会社では今後、雇用のかたちとして何に注目しますか(3つ以内)			前回調査
パート・アルバイト	193	53.5%	29.3%
中途採用	187	51.8%	49.0%
派遣社員	133	36.8%	16.2%
契約社員	130	36.0%	21.1%
定期採用	126	34.9%	40.5%
高齢者雇用	69	19.1%	10.7%
女性雇用の拡大	54	15.0%	6.8%
ワークシェアリングの導入	33	9.1%	-
外国人労働者	30	8.3%	8.5%
在宅契約	11	3.0%	2.2%
その他	2	0.6%	0.5%
答えない	2	0.6%	0.3%
不明	1	0.3%	2.2%

「定年」などソフト路線が主流

問5 あなたの会社で雇用削減を行ったり、今後もし実施するとすれば、それはどのような方法ですか(3つ以内)		
定年などの自然減	272	75.3%
採用減	226	62.6%
パート・臨時社員の削減	125	34.6%
早期退職	101	28.0%
正社員の派遣社員への代替	88	24.4%
出向社員の転籍	30	8.3%
その他	10	2.8%
答えない	6	1.7%
不明	12	3.3%

「望ましくない」が25.2%、「望ましい」が17.7%

問6 あなたの会社にとって、終身雇用制をどのようにお考えですか		
望ましい	64	17.7%
望ましくない	91	25.2%
どちらともいえない	176	48.8%
答えない	26	7.2%
不明	4	1.1%

「新しい産業を育成」「政府の景気対策」望む

問8 日本の雇用状態を改善するためには、どのような対策が必要だと思いますか(3つ以内)		
新しい産業を育成して新たな雇用を生み出す	280	77.6%
政府が景気対策を追加して雇用を増やす	191	52.9%
職業訓練所など社会人の能力開発システムを整備する	117	32.4%
子育て支援など女性が仕事を続けたり、仕事に就きやすい環境をつくる	78	21.6%
民間がリストラをやめ、できるだけ雇用を守る	63	17.5%
求人情報や職業サービスを充実させる	53	14.7%
自治体が雇用機会をつくる	36	10.0%
その他	48	13.3%
答えない	8	2.2%
不明	3	0.8%

「子育て後に再就職」がトップ

問9 一般的に女性が職業を持つことについて、どう思いますか		
子どもができれば職業をやめ、子育てが一段落したら再び職業を持つ方がよい	169	46.8%
結婚や出産にこだわらず、ずっと職業を続ける方がよい	74	20.5%
女性は職業を持つことにこだわらなくてもよい	54	15.0%
子どもができるまでは、職業を持つほうがよい	18	5.0%
結婚するまでは職業を持つほうがよい	13	3.6%
女性は職業を持たないほうがよい	4	1.1%
その他	16	4.4%
なんともいえない	12	3.3%
答えない	1	0.3%
不明	0	0.0%

「よい」が40%

問10 長野県内で女性が働くのに、企業や地域の環境は都会と比べてどう思いますか		
まあまあよい	126	34.9%
あまりよくない	85	23.5%
よくない	30	8.3%
かなりよい	19	5.3%
なんともいえない	96	26.6%
答えない	4	1.1%
不明	1	0.3%

「男性と区別しない」「勤務の弾力化」など大切

問11 働く女性を支援する対策として、企業としてはどんなことが大切だと思いますか(3つ以内)		
仕事の内容・待遇で男性と区別しない	178	49.3%
勤務する日や時間を弾力化する	173	47.9%
出産・育児後に復帰・再雇用する	158	43.8%
出産・育児の支援制度を設ける	92	25.5%
介護・看護の支援制度を設ける	88	24.4%
保育・託児の施設を設ける	75	20.8%
結婚退職の慣行を廃止する	46	12.7%
セクハラを防止する	24	6.6%
その他	9	2.5%
答えない	14	3.9%
不明	4	1.1%

アメリカが大差で1位

問12 親しみを感じる国・地域(3つ)		
アメリカ	251	69.5%
中国	115	31.9%
東南アジア諸国	101	28.0%
ドイツ	96	26.6%
台湾	89	24.7%
カナダ	73	20.2%
韓国	72	19.9%
イギリス	67	18.6%
スイス	33	9.1%
フランス	32	8.9%
オセアニア	24	6.6%
中南米	6	1.7%
ロシア	2	0.6%
中近東	2	0.6%
アフリカ	2	0.6%
北朝鮮	0	0.0%
その他の国・地域	6	1.7%
答えない・とくにない	18	5.0%
不明	5	1.4%

北朝鮮とロシアが過半数

問13 親しみを感じない国・地域(3つ)		
北朝鮮	300	83.1%
ロシア	205	56.8%
中近東	147	40.7%
アフリカ	69	19.1%
中国	55	15.2%
韓国	39	10.8%
中南米	25	6.9%
アメリカ	21	5.8%
フランス	12	3.3%
東南アジア諸国	5	1.4%
オセアニア	4	1.1%
イギリス	3	0.8%
台湾	2	0.6%
ドイツ	1	0.3%
カナダ	0	0.0%
スイス	0	0.0%
その他の国・地域	3	0.8%
答えない・とくにない	33	9.1%
不明	2	0.6%

「ライバル」が67%、「パートナー」が21%

問14 日本にとって中国は経済面で今後どのような立場になると思いますか		
どちらかといえばライバル	241	66.8%
どちらかといえばパートナー	75	20.8%
なんともいえない	40	11.1%
答えない	3	0.8%
不明	2	0.6%

製造業で「ライバルと思う」が61%

問15 日本にとって韓国は経済面で今後どのような立場になると思いますか		
どちらかといえばライバル	193	53.5%
どちらかといえばパートナー	95	26.3%
なんともいえない	68	18.8%
答えない	4	1.1%
不明	1	0.3%

中国、アメリカ、東南アジア諸国が上位

問16 日本が経済の上で今後関係を深めたらよいと思う国・地域はどこですか(優先度の高い方から2つ以内)		
中国	236	65.4%
アメリカ	187	51.8%
東南アジア諸国	134	37.1%
韓国	41	11.4%
台湾	28	7.8%
ロシア	24	6.6%
北朝鮮	2	0.6%
その他の国・地域	20	5.5%
答えない	8	2.2%
不明	3	0.8%

「先見性」「行動力」「指導性」を重視

問17 自分の後継者には、どんな資質を重視しますか(2つ以内)			2000年調査
先見性	166	46.0%	51.8%
行動力	147	40.7%	41.2%
指導性	144	39.9%	36.5%
創造性	112	31.0%	31.2%
国際感覚	72	19.9%	8.9%
堅実性	32	8.9%	11.1%
調整力	22	6.1%	7.8%
大衆感覚	8	2.2%	1.1%
文化的感覚	7	1.9%	1.7%
その他	4	1.1%	0.3%
とくにない	1	0.3%	0.0%
不明	2	0.6%	3.3%

「後継者の確保」や「知力・体力の衰え」考慮

問18 自分が経営者として退任・引退を決めるのは、主にどんな理由やきっかけになると思いますか(2つ以内)			2000年調査
後継者の確保	195	54.0%	58.5%
知力の衰え	130	36.0%	34.0%
体力の衰え	119	33.0%	26.7%
年齢の制限	70	19.4%	18.9%
仕事の達成	65	18.0%	15.6%
業績の悪さ	35	9.7%	8.9%
会社の決まり	25	6.9%	12.3%
業績の良さ	22	6.1%	8.6%
その他	7	1.9%	2.5%
とくにない	10	2.8%	0.8%
不明	2	0.6%	3.3%

不支持が支持を上回る

問19 田中長野県知事をどう思いますか			前回調査
支持する	48	13.3%	28.8%
どちらかといえば支持する	99	27.4%	28.8%
どちらかといえば支持しない	76	21.1%	12.6%
支持しない	76	21.1%	15.9%
なんともいえない・わからない	59	16.3%	13.7%
不明	3	0.8%	0.3%

「行財政改革」「商業・観光」「教育」は変わらず

問20 今後の長野県政が最も優先して取り組んでほしい分野は何ですか			前回調査
行財政改革	118	32.7%	27.9%
商業・観光	55	15.2%	15.6%
教育	47	13.0%	11.0%
工業	43	11.9%	8.5%
環境	20	5.5%	9.9%
農林業	19	5.3%	4.7%
情報・通信	18	5.0%	4.9%
交通	17	4.7%	4.9%
福祉・医療	12	3.3%	6.0%
防災	1	0.3%	1.1%
その他	2	0.6%	1.9%
とくにない・わからない	3	0.8%	1.4%
不明	6	1.7%	2.2%

「住環境」「行政の情報公開」「道路交通網」は「よい」

問21 現在の長野県についてどうお考えですか	よい方向		悪い方向		どちらともいえない		不明	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回
高齢者福祉・介護	37.7%	32.6%	8.6%	9.0%	49.3%	55.3%	4.4%	3.0%
乳幼児の育成環境	24.9%	18.1%	10.5%	11.0%	59.6%	67.1%	5.0%	3.8%
住環境	49.6%	35.1%	10.2%	15.3%	35.7%	44.7%	4.4%	4.9%
地域づくり	31.9%	29.3%	14.7%	15.6%	49.3%	49.9%	4.2%	5.2%
ごみ産業廃棄物	27.4%	32.6%	32.4%	32.6%	35.5%	31.2%	4.7%	3.6%
公園・緑地	39.9%	30.4%	14.1%	9.3%	41.8%	55.1%	4.2%	5.2%
青少年の育成	11.6%	7.7%	42.4%	43.3%	41.6%	45.5%	4.4%	3.6%
学校教育	14.7%	9.6%	47.9%	45.8%	34.3%	40.5%	3.0%	4.1%
障害者の社会参加	19.9%	32.6%	9.7%	4.4%	64.5%	58.6%	5.8%	4.4%
道路交通網	39.3%	49.0%	23.5%	16.7%	33.0%	29.6%	4.2%	4.7%
公共交通機関	17.2%	22.7%	41.3%	32.6%	37.7%	41.1%	3.9%	6.6%
情報技術	36.3%	46.0%	9.7%	6.0%	49.3%	43.3%	4.7%	4.7%
行政の情報公開	43.8%	49.0%	13.0%	12.6%	40.2%	34.2%	3.0%	4.1%
地域格差	9.4%	13.7%	41.8%	37.8%	44.3%	43.6%	4.4%	4.9%
雇用確保	6.4%	10.1%	51.2%	44.9%	38.2%	41.4%	4.2%	3.6%
男女平等	26.6%	34.5%	7.5%	2.2%	61.8%	59.5%	4.2%	3.8%
生涯学習	38.2%	44.4%	5.5%	1.6%	51.5%	49.9%	4.7%	4.1%
文化・芸術の振興	35.2%	40.3%	8.3%	3.3%	51.8%	52.9%	4.7%	3.6%
中小企業振興	6.6%	7.7%	39.9%	35.6%	49.3%	53.4%	4.2%	3.3%
観光立県	21.3%	17.5%	24.7%	27.9%	50.4%	50.4%	3.6%	4.1%
スポーツ・レクリエーションの振興	22.7%	23.3%	12.5%	6.3%	59.6%	66.6%	5.3%	3.8%
国際交流の推進	23.3%	24.9%	13.9%	5.8%	58.4%	65.8%	4.4%	3.6%
中心市街地	7.5%	4.9%	62.0%	65.2%	26.6%	26.6%	3.9%	3.3%

支持が 63.8%と高率

問22 小泉内閣を支持しますか		
支持する	67	18.6%
どちらかという支持する	163	45.2%
支持しない	36	10.0%
どちらかという支持しない	59	16.3%
なんともいえない・わからない	34	9.4%
不明	2	0.6%

自民が 48%、政党支持なしが 29%

問23 あなたは現在、どの政党を支持していますか		
自民党	172	47.6%
民主党	34	9.4%
自由党	19	5.3%
公明党	2	0.6%
共産党	1	0.3%
社民党	1	0.3%
保守党	0	0.0%
その他の政党	0	0.0%
支持する政党はない	106	29.4%
答えたくない	22	6.1%
不明	4	1.1%

「国の財政」「若者のモラル」など懸念

	よい方向		悪い方向		どちらともいえない		不明	
	今回	前回	今回	前回	今回	前回	今回	前回
外交・防衛	11.1%	6.3%	51.0%	52.6%	34.9%	37.0%	3.0%	4.1%
国の財政	2.5%	0.5%	88.1%	97.5%	6.4%	1.1%	3.0%	0.8%
物価・景気	3.9%	1.4%	73.7%	89.3%	19.7%	7.9%	2.8%	1.4%
土地・住宅	19.1%	20.5%	41.6%	40.3%	34.3%	37.5%	5.0%	1.6%
雇用・労働条件	3.9%	5.2%	72.3%	64.1%	21.3%	29.0%	2.5%	1.6%
医療・福祉	21.1%	29.3%	31.3%	19.7%	44.9%	48.2%	2.8%	2.7%
教育	4.4%	4.9%	58.7%	55.1%	34.3%	38.1%	2.5%	1.9%
エネルギー	17.5%	15.3%	26.3%	31.5%	52.6%	50.7%	3.6%	2.5%
自然環境	30.5%	24.7%	35.2%	43.6%	31.6%	29.9%	2.8%	1.9%
生活環境	24.9%	21.4%	25.8%	33.4%	44.9%	43.8%	4.4%	1.4%
治安	8.9%	11.0%	69.0%	64.1%	19.4%	23.6%	2.8%	1.4%
防災	30.2%	28.8%	17.2%	14.0%	50.4%	55.6%	2.2%	1.6%
交通秩序	18.6%	20.3%	31.9%	30.1%	47.1%	47.4%	2.5%	2.2%
社会風潮	3.9%	1.9%	74.5%	75.6%	18.6%	20.5%	3.0%	1.9%
若者のモラル	0.8%	0.0%	83.1%	83.6%	12.7%	15.3%	3.3%	1.1%
地域格差	8.3%	11.0%	44.6%	45.2%	43.8%	42.2%	3.3%	1.6%
国際化	27.1%	25.2%	15.2%	20.3%	55.4%	53.2%	2.2%	1.4%
食糧	16.9%		37.4%		43.2%		2.5%	

調査票

第5回「信州の社長・トップ」に聞く

問1 現在の経済状況についてお聞きします。あなたの企業経営の実感では、現在の日本の景気はどんな段階だと思いますか。

好況が続いている	不況のまま足踏みしている
不況から回復し拡大している	不況がさらに深刻化している
不況の底から回復の兆しがある	なんともいえない・わからない

問2 あなたが現在、経済的課題などで最も関心を持っているのはどんなことですか。1つに絞ってお答えください。

物価	景気	産業空洞化
地価	財政・税金	国際競争力
株価	雇用・収入	情報技術
金利	高齢化・少子化	その他()

問3 雇用についてうかがいます。あなたの会社では、現在の雇用を見直す動きがありますか。

増員を実施・検討	その他()
削減を実施・検討	答えない
現状のまま	

問4 あなたの会社では今後、雇用のかたちとして何に注目しますか。3つ以内でお答えください。

定期採用	派遣社員
中途採用	外国人労働者
パート・アルバイト	在宅契約
女性雇用の拡大	ワークシェアリングの導入
契約社員	その他()
高齢者雇用	答えない

問5 あなたの会社で雇用削減を行ったり、今後もし実施するとすれば、それはどのような方法ですか。3つ以内でお答えください。

定年などの自然減	パート・臨時社員の削減
早期退職	正社員の派遣社員への代替
採用減	その他()
出向社員の転籍	答えない

問6 あなたの会社にとって、終身雇用制をどのようにお考えですか。

望ましい	問7、8へ
望ましくない	問7、8へ
どちらともいえない	問7、8へ
答えない	問8へ

問7 (問6で 、 、 とお答えの方に)

終身雇用制がなぜ「望ましい」のか、「望ましくない」のか、「どちらともいえない」のか、その理由を具体的にお書きください。

問8 あなたは、日本の雇用状態を改善するためには、どのような対策が必要だと思いますか。3つ以内でお答えください。

政府が景気対策を追加して雇用を増やす
自治体が雇用機会をつくる
民間がリストラをやめ、できるだけ雇用を守る
新しい産業を育成して新たな雇用を生み出す
求人情報や職業サービスを充実させる
子育て支援など女性が仕事を続けたり、仕事に就きやすい環境をつくる
職業訓練所など社会人の能力開発システムを整備する
その他()
答えない

問9 女性が働くことについてうかがいます。あなたは、一般的に女性が職業を持つことについて、どう思いますか。

女性は職業を持たない方がよい

結婚するまでは職業を持つ方がよい

子どもができるまでは、職業を持つ方がよい

結婚や出産にこだわらず、ずっと職業を続ける方がよい

子どもができたら職業をやめ、子育てが一段落したら再び職業を持つ方がよい

女性は職業を持つことにこだわらなくてもよい

その他()

なんともいえない

答えない

問10 あなたは、長野県内で女性が働くのに、企業や地域の環境は都会と比べてどう思いますか。

かなりよい

よくない

まあまあよい

なんともいえない

あまりよくない

答えない

問11 あなたは、働く女性を支援する対策として、企業としてはどんなことが大切だと思いますか。3つ以内でお答えください。

勤務する日や時間を弾力化する

介護・看護の支援制度を設ける

保育・託児の施設を設ける

出産・育児の支援制度を設ける

出産・育児後に復帰・再雇用する

結婚退職の慣行を廃止する

セクハラを防止する

仕事の内容・待遇で男性と区別しない

その他()

答えない

問12 外国との関わりについてうかがいます。あなたが親しみを感じる国・地域を3つに絞ってお答えください。

アメリカ	スイス	中南米
カナダ	中国	中近東
ロシア	台湾	アフリカ
フランス	韓国	オセアニア
ドイツ	北朝鮮	その他の国・地域()
イギリス	東南アジア諸国	答えない・とくにない

問13 あなたが親しみを感じない国・地域を3つに絞ってお答えください。

アメリカ	スイス	中南米
カナダ	中国	中近東
ロシア	台湾	アフリカ
フランス	韓国	オセアニア
ドイツ	北朝鮮	その他の国・地域()
イギリス	東南アジア諸国	答えない・とくにない

問14 あなたは、日本にとって中国は経済面で今後どのような立場になるとお考えですか。

どちらかといえばパートナー	なんともいえない
どちらかといえばライバル	答えない

問15 あなたは、日本にとって韓国は経済面で今後どのような立場になるとお考えですか。

どちらかといえばパートナー	なんともいえない
どちらかといえばライバル	答えない

問16 あなたは、日本が経済の上で今後関係を深めたらよいと思う国・地域はどこですか。優先度の高い方から2つ以内であげてください。

アメリカ	北朝鮮	<input type="checkbox"/>
ロシア	東南アジア諸国	
中国	その他の国・地域	<input type="checkbox"/>
台湾	()	
韓国	答えない	

問17 あなたは、自分の後継者には、どんな資質を重視しますか。2つ以内でお答えください。

調整力	国際感覚	行動力	<input type="checkbox"/>
大衆感覚	堅実性	その他	
文化的感覚	指導性	()	<input type="checkbox"/>
先見性	創造性	とくにない	

問18 あなたは、自分が経営者として退任・引退を決めるのは、主にどんな理由やきっかけになると思いますか。2つ以内でお答えください。

体力の衰え	業績の良さ	その他	<input type="checkbox"/>
知力の衰え	業績の悪さ	()	
仕事の達成	後継者の確保	とくにない	<input type="checkbox"/>
年齢の制限	会社の決まり		

問19 あなたは、田中長野県知事をどう思いますか。

支持する	支持しない	<input type="checkbox"/>
どちらかといえば支持する	なんともいえない・わからない	
どちらかといえば支持しない		

問20 あなたは、今後の長野県政が最も優先して取り組んでほしい分野は何ですか。1つに絞ってお答えください。

交通	行財政改革	防災	<input type="checkbox"/>
商業・観光	教育	福祉・医療	
工業	環境	その他()	
農林業	情報・通信	とくにない・わからない	

問21 現在の長野県についてどうお考えですか。あてはまる欄の数字に○をお付けください。

		よい方向	悪い方向	どちらともいえない
A	高齢者福祉・介護			
B	乳幼児の育成環境			
C	住環境			
D	地域づくり			
E	ごみ産業廃棄物			
F	公園・緑地			
G	青少年の育成			
H	学校教育			
I	障害者の社会参加			
J	道路交通網			
K	公共交通機関			
L	情報技術			
M	行政の情報公開			
N	地域格差			
O	雇用確保			
P	男女平等			
Q	生涯学習			
R	文化・芸術の振興			
S	中小企業振興			
T	観光立県			
U	スポーツ・レクリエーションの振興			
V	国際交流の推進			
W	中心市街地			

問22 あなたは、小泉内閣を支持しますか。

支持する
 どちらかという支持する
 支持しない

どちらかという支持しない
 なんともいえない・わからない

問23 あなたは現在、どの政党を支持していますか。

自民党
 民主党
 公明党
 自由党
 共産党

社民党
 保守党
 その他の政党()
 支持する政党はない
 答えたくない

問24 あなたは、日本がよい方向、悪い方向のどちらに向かっていると思いますか。

あてはまる欄の数字に をお付けください。

		よい方向	悪い方向	どちらともいえない
A	外交・防衛			
B	国の財政			
C	物価・景気			
D	土地・住宅			
E	雇用・労働条件			
F	医療・福祉			
G	教育			
H	エネルギー			
I	自然環境			
J	生活環境			
K	治安			
L	防災			
M	交通秩序			
N	社会風潮			
O	若者のモラル			
P	地域格差			
Q	国際化			
R	食糧			

F 1 出身地 県内 都道府県)

F 2 年代 20代 50代
30代 60代
40代 70代以上

F 3 資本金 3千万円未満
3千万円～1億円未満
1億円～5億円未満
5億円～10億円未満
10億円以上

F 4 御社の業種
< 製造業 >
電子・電機・精密・金属
一般機械・輸送機械
食品・飲料・酒
衣料・スポーツ用品
木材・木製品・紙・パルプ
薬品・化学
印刷・出版
その他(具体的に)

< 非製造業 >
建設業・設備工事・不動産業
卸・小売業
金融・保険・証券業
運輸・通信
サービス業(レジャー・飲食店・ホテルなど)
病院・医療関係
その他(具体的に)